

YOSANO

広報よさの

No.84



2013

2

●今月の表紙

与謝野町成人式（1月13日撮影）

●主な記事

02 高校生アベリスツイス訪問記

08 平成25年度与謝野町成人式

〔高校生アベリスツイス訪問記〕 平和の架け橋でつながる思い



フランクエバンス氏の墓前で平和への誓いを新たにす一行

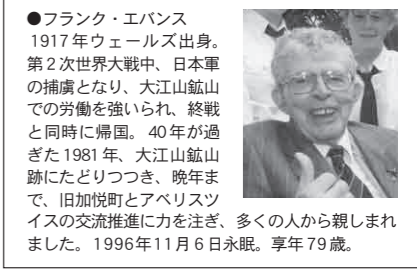
平成2年から始まった本町とウェールズ（英国）アベリスツイスとの高校生相互派遣交流。今年の本町からアベリスツイスを訪問する年になっており、町内在住の6人の高校生と通訳の岡部栄江さん（石川）、町職員の井上公章主任（農林課）の8名による訪問団を11月3日から14日の12日間の日程でアベリスツイスへ派遣（通算して10回目の派遣）しましたので、その研修成果を報告します。

高校生たちは遠くアベリスツイスのまちで何を見て、何を感じたのでしょうか。



左上／戦没者追悼式を見学しました
右上／海沿いに美しい町並みが続くアベリスツイス町下／アベリスツイス駅で記念写真

この交流は、第2次世界大戦中、日本軍の捕虜となり大江山ニッケル鉱山で労働を強いられた英国軍兵士フランク・エバンス氏が、昭和59年に旧加悦町を訪問し、大江山運動公園に平和を願う慰霊碑を建立したことをきっかけに始まり、平成4年から友好の架け橋として高校生の相互派遣交流を進め毎年度受け入れと派遣を交互に行い、年々交流が深まっています。



●フランク・エバンス
1917年ウェールズ出身。第2次世界大戦中、日本軍の捕虜となり、大江山鉱山での労働を強いられ、終戦と同時に帰国。40年が過ぎた1981年、大江山鉱山跡にたどりつき、晩年まで、旧加悦町とアベリスツイスの交流推進に力を注ぎ、多くの人から親しまれました。1996年11月6日永眠。享年79歳。

平成24年までにアベリスツイスの高校生52人、同じく与謝野町の高校生52人や双方の友好協会などの関係者が、ホームステイや体験を通じてお互いの国の歴史・文化・生活・習慣などを理解することができる貴重な機会となっており、また日本という国をあらためて見直し、戦争のない平和な世界を目指す人材の育成といった大きな目的も持っています。

エバンスさんの思いを若い世代に伝えたい

加悦谷高校3年 植竹千夏

友達からの誘いをきっかけに、自分の英語力を試す良い機会になるのではないかと思い応募しました。事前研修をとおして、知る事の大切さに気づくことができました。そして、事前研修を重ねるごとに、私（たち）が町の代表として、互いの歴史や文化を理解し両町の友好関係をさらに深め、それを次へとつなげていかなければならないのだと思うようになりました。

この派遣事業に参加できたことは本当に良かったです。交流を通し、エバンスさんの思いを理解し、また平和に関して考えを深めるとても良い機会になりました。

最初は、コミュニケーションに不安がありましたが、行ってみるとそうでもなかったです。単語だけの拙い英語でもちゃんと聞いてくれ、理解しようとしてくれました。ホストファミリーを含めアベリスツイスの皆さんは、本当に親切でした。言語がどうか以前に、同じ人間として接し合っているような気がしました。英語だけでなく、ウェールズ語も少し話しました。発音がすごく難しいのですが、あいさつ程度でも話すすごく喜んでくれ、ほめてくれました。

エバンス氏の訪問がきっかけで、このような交流が今でも続き、そしてこの交流に自分が参加できたこと、この交流に際し、携わり支えてくれた多くの方々に感謝します。

将来、この交流が続くよう、私が経験したこと、エバンスさんの思いを多くの方、特に高校生や若い世代の人たちに伝えていきたいです。



それぞれの感じたことを発信していくことが使命だと思う

福知山成美高校3年 矢野詩織

派遣事業のメンバーになり、事前研修を経てアベリスツイスへ旅立ち、帰国。いろんな思いを胸にドキドキ、ワクワクした2か月間でした。戦争・捕虜のことを改めて見つめ直すことができ、人との出会いや関わり合いを感じることでできる研修でした。関係者の方だけではなく、たくさんの人が温かく大きな心で、まるで昔からの知り合いが来た、家族が帰ってきたかのように迎えてくださったことに、長年続いてきたこの交流の重みとアベリスツイスと与謝野町、両町の深いつながりを感じました。

これまでの研修生の方々が感じたこと、私を感じたこと、そして私以外の今回の研修生が感じたこと、すべてが全く同じではないはず。十人十色の感じ方をそれぞれが形にして伝えていく、発信していくことが大切なことであり、私たち研修生の果たすべき使命なのではないかと思っています。この交流がこれからもずっと続きますように。平和が永遠に続きますように。

ここで少しだけですが、私が覚えたウェールズ語を紹介します。

Croeso（ようこそ）、Bore da（おはようございます）、Nos da（おやすみなさい）、Sut rydych chi（お元気ですか？）、Da iawn（とても良い）、Diolch yn Fawr（ありがとうございます）

発音が難しくてなかなか言えず苦戦しました。ウェールズ語では本当に簡単なコミュニケーションしかできなかったけど、頑張ると言っているとみんな嬉しそうにしてくれて楽しかったです。

国際関係の仕事に就いて平和について考えていきたい

宮津高校2年 太田詩穂子

きっかけは、派遣事業に参加した姉たちです。「本当にいい経験になった。また行きたい」と嬉しそうに話す様子を見て、自分も高校生になったら参加したいなとずっと思っていました。また、外国の文化や言語に興味があり、英語で多くの人と関わってみたいと思い応募しました。

しかし、事前研修でこの派遣事業の本当の目的を知りました。「研修の目的は英語を話せるようになるためではない。エバンスさんの伝えたかった『平和』について考えること」と聞く中で、私もだんだん目的が変わっていきました。この研修で知り合った人、仲良くなった人は多くいます。もし、イギリスと戦争になったら、私はこんな大切な人たちがいるのに、争うことなんてできません。自分なりに、世界のみなが平和になるにはどうすればいいか、考えていると思いました。

はじめは不安だった研修も、ホストファミリーがとても親切にしてくれたおかげですぐに慣れ、とても楽しむことができました。言語や文化が違って互いに理解しあって、つながっていくことは、本当に素晴らしいことだと思います。こうしてつながれたのは、エバンスさんのおかげです。エバンスさんの望まれる平和は、こうして作られていくんだなと思いました。

この研修での経験を将来に活かして、国際関係の仕事に就き、多くの人と関わり、お互いのことを理解し、平和について考えていきたいと思いました。



海外で人と交流したい気持ちが強くなった

加悦谷高校2年 富田彩乃

私はこの交流により自分を大きく成長させられるのではないかと思い応募しました。行くことに決まった時は、不安な気持ちもありましたが、研修を重ねて、たくさんの知識を得るたびに、やるしかない！行けなかった人の分まで学んでよう！という気持ちになりました。

この研修を通して思ったことは、捕虜というものがいかにスポットの当たらないものかということです。英雄のように語られ死んでいった兵士たちの物語を私はいくつも知っています。しかし私は捕虜について今回の研修に参加するまで、耳にしたことはあっても深く考えようとしていませんでした。事前研修でエバンスさんの話を聞き、いかに苦しいものだったのかを知りました。そして、戦争は人の人生を終わらせるだけではなく、狂わせるものだと考えるようになりました。

研修を通して成長できたかという正直わかりません。知らない土地での生活は1週間もしたら慣れてしまうし、たった1週間では人は変わりませんでした。それでも、実際に自分の目で見て感じてきたことで、心境の変化はあったと思います。私の夢は研修に行く前と変わっていませんが、海外旅行に行きたいという思いが強くなりました。以前は観光が目的でしたが、今はそれだけでなく、現地の人たちと交流がしたいと思うようになりました。

この交流がいつまでも続き、多くの人が戦争と平和について考えてくれることを願っています。

教師になって今回の経験を伝えたい

加悦谷高校2年 日賀井裕佳

戦争によって失われた多くの命やエバンスさんが日本の捕虜になったことから始まったこの交流を、私はものすごく重いものだと捉えています。一言では表せないくらい重い過去があったからこそ、今こうやって交流ができています。私にはそんな沢山の想いを背負ってアベリスツイス訪問をしました。

私の将来の夢は教師です。教師は生徒に沢山のことを教えられる職業です。だから私は勉強のほかに戦争の怖さ、人との関わり、優しさ、思いやり、自分に自信を持つこと、積極的になることなど今回私が学んできた多くをそのまま教えてみたいと思います。実際自分で体験しなければ分からないことだらけですが、伝えないでいておくのはもったいなすぎます。夢を叶えて、そのことを知ってもらいたいです。

「二度と戦争はしてはならない」。これは戦没者追悼式のパレードを通じて感じました。街のみんなが多くの失われた命をただただ黙って惜しんでいるという切ない現場を生で見て、これ以上こんなことを増やしたくないと思いました。日本でも同じようなことをしますが、これが世界中で行われているのを生で見てしまうと、感じるものがやはり違いました。

私たち高校生がこの思いを持っている限り、今後絶対に戦争は起こらないと思います。エバンスさんが伝えたいことがよく分かりました。戦争は誰にもメリットはないから、やるべきではありません。



国際交流にたずさわりたいと思うようになった

加悦谷高校2年 吉岡稚奈

エバンスさんの捕虜体験から始まった、この交流は、20年間続いているのもあり、私たちが訪問に行ったときには、アベリスツイスの人たちが、みんなあたたかく迎え入れてくれて、交流がより深まったと思います。

エバンスさんの墓参りでは、二度と戦争は、起こしてはいけないと改めて感じる事ができたし、学校訪問で見た櫓の木は、平和の象徴でもあり、自分たちの目で櫓の成長を確認することができて、これからもずっと交流が続いてほしいと思いました。

私がこの派遣事業に参加できて得たものは、たくさんありました。エバンスさんの捕虜体験の話や、交流のことは、聞いたことがありましたが、この事業に参加して、実際行って話を聞くことで、より現実的に考えることができました。また、ホームステイを通して身をもって、アベリスツイスの文化を知ることができてよかったです。与謝野町民にもエバンスさんの捕虜体験を詳しく伝えて、二度と戦争が起こらないようしたいです。

このアベリスツイスの派遣事業に参加できて、自分の将来も見直すことができたと思います。まず、積極的に話すことが大切だと分かりました。うまく話せなくても伝えたい気持ちがあれば、伝わると思いました。自信にもなりました。この貴重な経験を通して、この先、もっと国際交流にたずさわりたいように自分の将来をもう一度見直そうと思います。

平成 25 年与謝野町消防団出初式

1年間の安心・安全を願って

■ 消防団は、「めざそう火災ゼロの町」をスローガンに頑張ります。

誓いを新たに

与謝野町消防団出初式が平成25年1月6日、知遊館一帯で開催され、消防団員と消防関係者らおよそ300人が集まりました。式典では、澤田尚登団長が「火災ゼロのまち・与謝野町」を目指して、徹底した予防消防を一層展開しなければならぬ。町民の安心・安全のため、「わが町は我々



が守るんだ」という精神でがんばってもらいたい」と訓示。団員たちは真剣な表情で聞き入っていました。功労者や優良団員に表彰状が伝達され、退職消防団員に感謝状が贈呈されました。

式典終了後、団員らは恒例の「分列行進」と「一斉放水」を披露し、見学に訪れた地域住民とともに今年一年間の安心と安全を誓いました。



●右ページ
①分列行進を披露する団員たち ②パレードには各分団の消防車両も参加しました③・④阿蘇シーサイドパーク周辺で行われた一斉放水 ④式典で敬礼する澤田団長 ⑤表彰を受ける団員
●左ページ
⑦・⑧ステージ上で表彰を受ける団員たち ⑨団員に敬礼する太田町長

■ 表彰者の皆さん (一部抜粋・敬称略)

- 京都府消防協会勤功章
白数 忠之 (本部/本部付分団長)
- 京都府消防協会勤功章
田中 讓 (本部/本部付分団長)
吉田 稔 (本部/本部付分団長)
- 京都府消防協会精進章
伊藤 繁 (本部/本部付分団長)
石本 修一 (本部/本部付分団長)
- 京都府消防協会精進章
藤田 正利 (加悦③/分団長)
堀口 義雄 (岩滝②/分団長)
西原 誠 (野田川①/分団長)
芝井 一匡 (野田川③/分団長)
大平 義隆 (野田川④/分団長)
- 両都市消防協議会会長表彰
大江 聡 (加悦③/部長)
高岡 重隆 (加悦③/部長)
石田 雅彦 (野田川②/班長)
坂根 泰弘 (野田川③/部長)
糸井 衛 (野田川④/部長)

- 京都府消防協会丹後ブロック消防連絡協議会会長表彰
小松 延行 (野田川④/班長)
倉 義広 (加悦①/班長)
糸井 宏輔 (岩滝③/班長)
- 京都府消防協会宮津与謝支部長表彰
杉本 和彦 (加悦①/班長)
谷垣 吉信 (加悦①/班長)
市田 明義 (加悦③/班長)
高橋 康司 (岩滝①/班長)
渡邊三紀夫 (岩滝②/班長)
井戸本大輔 (岩滝③/班長)
秋田 誠 (野田川①/班長)
安田 晃雄 (野田川①/班長)
山崎 昭稔 (野田川③/班長)
山口 周作 (野田川④/班長)
牛田 竹史 (野田川④/班長)
- 町長特別表彰
中島 義記 (野田川⑤/班長)
金谷 豪 (野田川⑤/班員)
植田 道則 (野田川⑤/班員)
堀尾 知弘 (野田川⑤/班員)
吉田 啓介 (野田川⑤/班員)
吉田 真也 (野田川⑤/班員)

- 消防庁長官退職1号報償
小長谷 淳 藤田 敏一
- 消防庁長官退職2号報償
堀口 満朗 三野 明広 小野 芳男 矢野 浩之 長島 和泰 和田 直樹 吉田 泰宜 谷口 智 中谷 直樹 矢野 彰男 長島 義徳 斎藤 昌樹 藤田 敏一
- 京都府消防協会長感謝状
小長谷 淳 堀口 敏一 三野 明広 小野 芳男 白垣 祥介 中谷 義徳 白須 祥介 堀口 満朗 藤田 敏一 斎藤 昌樹 矢野 彰男 長島 義徳 和田 直樹 吉田 泰宜 谷口 智 中谷 直樹 矢野 彰男 長島 義徳 斎藤 昌樹 藤田 敏一



- 町長退職消防団員感謝状
小長谷 淳 堀口 敏一 三野 明広 小野 芳男 白垣 祥介 中谷 義徳 白須 祥介 堀口 満朗 藤田 敏一 斎藤 昌樹 矢野 彰男 長島 義徳 和田 直樹 吉田 泰宜 谷口 智 中谷 直樹 矢野 彰男 長島 義徳 斎藤 昌樹 藤田 敏一
- 京都府知事退職報償
永井 孝幸 山添 浩司 太田 雅伸 西川 忠宏 浪江 宏樹



ついでにですね？
住宅用火災警報器



命を守る火災警報機の設置を！
昨年未には町内で住宅火災により2人の方(2件)の尊い命が失われました。火災からあなたやあなたの大切な人の命を守るため、住宅用火災警報器を設置してください。
また、すでに設置している方は正常に作動するよう定期的な点検をしましょう。

住宅火災から命を守る7つのポイント

- 寝たばこは絶対やめる。
- ストーブは燃えやすいものから離れた位置で。
- コンロのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類やカーテンは、防炎品を使用する。
- 消火器等を準備する。
- 隣近所の協力体制をつくる。

2年前、日本に来た頃、僕は子どもたちからいろいろな質問を受けました。「好きな色は?」「好きな食べ物?」。かわいい子どもたちに英語でていねいに答えるようにしていましたが、当時、日本語が全く話せなかった僕は、「日本語で好きな言葉は?」という質問には、答えられませんでした。でも、2年たった今では、同じ質問に答えが出せます。僕には、日本語で好きな言葉が3つあります。今回は、僕の好きな日本語について話します。

まずは、「キノコ」。響きが、すごく好きだと思います。かわいくて、若い女の子の名前のようです。皆さんにはちょっと変かもしれませんが、僕の英語に慣れた耳や脳には、本当にきれいに響きます。「キノコ」は、「言語の美しさ」を思い出させます。言語は実用的なものです、美しいこともあります。詩や歌などがそうですね。



新しい言語を覚えるのは難しいですね

次は「元気」。実はすごく訳しにくい言葉です。日本語には、ほかに訳しにくい言葉がたくさんあります。「お願いします」「懐かしい」「面倒くさい」などを英訳すると、微妙なニュアンスが伝わりません。「元気」は、「言語の翻訳の難しさ」を思い出させます。このことは、新しい言語を勉強する上で興味深い発見です。新しい言語を理解するために、その国の独特の言い方を学ぶことも大切だと思います。

最後は、「涙ぐましい」。おとしの8月6日、広島平和祈念式典を見に行きました。与謝野町に帰ってから、誰かに「どうだった?」を尋ねられても、びったりの日本語がみつかりませんでした。「悲しい」も違うように思いました。英語の「touching」を辞書で探して、「涙ぐましい」という日本語を知りました。でも、実際に使ってみたら、日本人にはちょっとびっくりされました。わかりにくい言葉ではないけど、日本人はあまり使いません。言葉の意味は知っているのに、普段はあまり使わないようです。おもしろいと思いました。「涙ぐましい」は、「言語の複雑さ」を思い出させます。言語とは語彙と文法だけではなく、文化や経験も大切です。このことは、教科書やインターネットで調べても学べません。日本人の皆さんからだけ、教えていただけません。この複雑さはとてもいいです。交流や相互理解が深まりますから。「涙ぐましい」

も「touching」も、今では「感動」という言葉のほうが、より僕の気持ちに合うと思うようになりました。ちなみに、英語で好きな言葉は「clemency」です。「助命・温和・温厚・寛容・慈悲・情け深さ」のことです。意味もいいですが、響きが好きです。ほかの言葉で、こんな美しい音「響き」は見つからないように思います。僕に会ったらあなたの好きな言葉を教えてくださいね。

公民館訪問 [第17回 石川地区公民館]

地区公民館活動

汗を流しました。最後の10回目は、皆勤賞も用意し、ささやかな達成感を感じてもらえたかなと思っ



大盛り上がりとなった錦鯉の稚魚掴み取り大会

たいと思います。今後も、公民館活動が幅の広い年代層に親しまれ、また、地域交流の場となるように、いろいろな角度から工夫しながら、一つひとつの講座をていねいに考えたいと思います。

石川地区公民館は区事務所のある農構センターと併設しており、どちらも地域の交流の場として公民館活動の中心になっています。公民館活動は、公民館運営委員を中心に区の委員さん等の協力も得ながら行っています。小学生から高齢者まで、何らかの公民館講座に参加してもらえよう、幅広く講座内容を考え10講座以上の開講を目標にしています。

夏休みには、環境が整備され川幅も広がった香河川を会場に、小学生を対象として、自然の川の中での、錦鯉の稚魚掴み取り大会を行いました。大会の前日から区の委員さん全員にお世話になり、草刈りや中州の砂移動、川底の砂地ならし、危険物の除去、安全確認等を行いました。当日は小学生たちがバケツを持参で集まり、10時から稚魚を2カ所から、2回に分けて約6000匹余りを放流しました。子どもたちはもちろん保護者の方も「あっち、こっち」と応援に熱が入り、大盛り上がりでした。最後はお昼に運営委員さんが準備してくれた、石川のうどんを参加者みんなで食べました。

図書館へ行こう!

BOOKS

風邪にはご注意ください

暦の上では立春を向かえましたが、まだまだ寒い日が続きます。元気な毎日を過ごすために、風邪などの感染症の予防やインフルエンザに関する本をご紹介します。



『こどもの感染症 予防のしかた・治しかた』 金子光延/講談社
子どもがよくかかる、インフルエンザやノロウイルス、はしかといった、“うつる”病気を分かりやすく解説した1冊。感染症の原因、看病の方法に加え予防接種から耐性菌問題にも触れており、参考になります。



『天皇の牧場を守れ 鳥インフルエンザとの攻防』 馬場雄二/講談社
600万羽の鶏が処分された鳥インフルエンザ。宇都宮市にある宮内庁・御料牧場はなぜ無事だったのかを豊富な資料に基づき検証するなかで、日本の養鶏・畜産市場の在り方について警鐘をならす1冊。

『ぼくびょうきじゃないよ』

角野栄子・垂石 真子/福音館書店

明日は釣りに行く約束をしているケン。夕ご飯のあとに咳と熱が出てきました。ベッドで寝ていると、やってきたのは、大きなお医者さん。早く治すためには、うがいと薬が大切だと、うがいのしかたを教えてくださいませんか?



『オバケだって、カゼをひく! 内科・オバケ科ホオズキ医院』

富安陽子・小松良佳/ポプラ社

鬼病院は、世界にたった1人のオバケ科の名医がいる。でも誰もが、そこへ行くわけじゃない。そんな不思議な世界で「鬼インフルエンザ」が流行って、予防注射にたくさんのオバケがやってきます。



- 今月の新着図書
- 『与謝蕪村(別冊太陽)』藤田真一/平凡社
 - 『ベニシアの言葉の宝箱』ベニシア・スタンリー・スミス/世界文化社
 - 『ターシャ・テューダーの手作りギフト』ターシャ・テューダー/メディアファクトリー
 - 『シルバー川柳 誕生日ローソク吹いて立ちくらみ』全国有料老人ホーム協会/ポプラ社
 - 『残り全部バケーション』伊坂幸太郎/集英社
 - 『神去なあなあ夜話』三浦しをん/徳間書店
 - 『スタンダップダブル!』小路幸也/角川春樹事務所
 - 『読まずにはいられない』北村薫/新潮社
 - 『夫婦の散歩道』津村節子/河出書房新社
 - 『血霧 全2巻』パトリシア・コーンウェル/講談社
 - 『オニたいじ』森絵都/金の星社
 - 『ねむりひめ』荒井良二/NHK出版
 - 『富士山うたごよみ』依万智/福音館書店
 - 『なぞのワゴン車を追え!』ドリー・ヒルスタッド・パトラー/国土社
 - 『3万冊の本を救ったアリーヤさんの大作戦』マーク・アラン・スタマティー/国書刊行会
 - 『新島八重(学習漫画 世界の伝記NEXT)』柊ゆたか/集英社
 - 『金田一先生の使ったのぼり語1』金田一秀穂/あかね書房
 - 『IQ探偵ムー スケートリンクは知っていた』深沢美潮/ポプラ社
 - 『大統領の秘密』メアリー・ポー・オズボーン/メディアファクトリー

読み聞かせ講習会~紙芝居を演じてみよう

紙芝居の楽しみ方・読み聞かせについて実演とお話いただけます。

- 日時 2月17日(日)午後1時30分~3時30分
- 場所 知遊館 研修室3
- 講師 道山由美さん(愛知県豊田市こども図書室職員・紙芝居文化の会運営委員)
- 申し込み 図書館(分室)へお申し込みください。電話・FAXでも可。 ※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

Info 絵本作家講演会~絵本とともに旅をして

「じゅげむ」をはじめとした落語絵本シリーズや、「おばけ」シリーズなど数々の絵本を生み出している絵本作家川端誠さんによる、自作絵本を読み聞かせる絵本ライブと絵本製作の裏話を語る講演会を行います。大人も子どもも楽しめますので、皆さんぜひお越しください!

- 日時 3月20日(祝)
 - <絵本ライブ> 午前10時30分~
 - <講演会> 午後2時~
- 場所 知遊館 研修室 ※入場無料です!

図書館おはなし会

- <本館> 3月はお休みです。
- <加悦分室> 3月9日(土)午後3時~ ※2月はお休みです。
- <野田川分室> 2月はお休みです。

- 問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
- 開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

希望あふれる 喜びの 門出

責任ある立場に

1月13日、「平成25年与謝野町成人式」が野田川わくぼるで開催されました。

今年の対象者は平成4年4月2日から平成5年4月1日生まれの319人で、この日は振り袖や羽織袴などに身を包んだ255人が式典に参加しました。

会場では懐かしの友人を見つけ声をかけあうなど再会を喜ぶ新成人たちの笑顔があふれていました。

式典では、太田貴美町長が「一人ひとりが夢と希望を見失うことなく、若者らしく正々堂々と努力と挑戦をし、自分の道を切り開いてくださることを期待します」と式辞を述べ、来賓からもお祝いの言葉が贈られました。

その後、記念品の台付ふくさが、町長から山口明日香さん（幾地）に贈呈されました。最後に、新成人を代表して足立嘉朗さん（男山）が、「成人として行動範囲を広げ、責任ある立場でさまざまなことに関わりを持つことに努める。また、本日はいただいた言葉を胸に刻み、明日からの人生を歩んでいきます」と力強く決意を込めて謝辞を述べました。

謝辞を述べる足立嘉朗さん



就職頑張ります 荻野 未来

地元最高！ 西村 真哉

地元に戻りたい 木村 愛

精進します！ 安見 光平



彼女作ります！

山添 誠人

浦田 佳幸

国を守ります！ 前田 貴紀

来年はもつと地元に戻ってきたいです。 川中 美里



日本海の未来は任せろ！ 楠田 康平

新成人 インタビュー

新成人の皆さんに
決意や感想などを聞き
ました（敬称略）



春から働きます。 西原 沙世

夢をみつ
けたい。 石田 未和



がんばって大
人になります。 小西 貴諒



振り袖で大人になった気
がします。 森脇 明日香



実感わかないけど頑張
ります。生まれ変わります。 西村 麻美



仕事がんばります。 三野 史記

今年は結婚します。 岡 南輝



●第31回全国女子駅伝
与謝野町出身ランナーの
3人が力走!

1月13日、京都市の西京極陸上競技場をスタート・ゴールとする9区間42.195kmのコースで行われ、各都道府県を代表するランナーたちがたすきをつなぎ、ゴールを目指しました。

今年も昨年と同じく与謝野町出身ランナーが3人出場し、力強い走りを見せてくれました。まず、1区で出場したのは木崎良子さん(下山田出身)。

区間賞を獲得した昨年と同じく大阪1区を走りましたが、マラソンに向けた調整の影響もあり、区間5位という結果でした。

続いて6区には大分代表として川嶋利佳さん(幾地出身)が出場しました。「順位を上げられず悔しい」と振り返りますが、しっかりと順位をキープし後続へたすきをつなぎました。

最終9区には群馬チームのアンカーとして西原加純さん(滝出身)が出場。大学時代に走りなれたコースでの安定した走りで順位を1つ押し上げる活躍を見せ、見事入賞を果たしました。

レースは神奈川チームが大会新記録で優勝、大阪、大分、群馬はそれぞれ3位、23位、7位、また地元京都チームは9位という結果でした。



左上/ゴール直前ラストスパートをする西原さん(写真・ヤマダ電機提供) 右上/たすきを手渡す木崎さん(写真・京都新聞社提供) 左下/沿道の声援を受け力走する川嶋さん(写真・キャノン九州提供)

●功績・功労をたたえて

森下完二さんが生涯スポーツ功労者表彰を受賞しました



地域におけるスポーツの健全な普及および発展に貢献し、スポーツ振興に顕著な成果をあげた方を文部科学大臣が表彰する「生涯スポーツ功労者表彰」を森下完二さん(温江)が受賞しました。

森下さんは、長年にわたり旧加悦町の体育指導員(現スポーツ推進委員)として活動し、地域のスポーツ振興に携わってきました。また、かやスポーツクラブの設立では準備段階から中心的な役割を果たし、設立後は、会長としてかやスポーツクラブ事業の推進、地域のスポーツ振興に深く関わり、地域のコミュニティの場を住民に広く提供しました。また、京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会でも設立時から、副会長として尽力し、連絡協議会の発展にも大きく寄与しました。これらの功績が評価され、今回の受賞となりました。



国体選手の指導でけいこに熱が入りました

●少年少女柔道教室けいこ始め
国体選手が子どもたちを直接指導!

1月20日、野田川体育館柔道場で少年少女柔道教室のけいこ始めが行われ、平成24年度、岐阜国体に出場した3選手が子どもたちを直接指導しました。

これは、京都府教育委員会等による国体選手派遣事業の一環で、京都府警から浅野宗樹選手、佐野望選手、鳥田曜輔選手の3人が訪れ、柔道の技だけでなく、武道への心構えや運動する上での注意点などを指導。参加した25人の子どもたちは熱心に指導を受けていました。

けいこの後には歓迎昼食会も開かれ、国体選手と子どもたちが笑顔で親睦を深めました。

健やか広場

▶ 食育 ~乳幼児の食生活~



給食を笑顔でほおぼる子どもたち。まずは楽しく食べることが食育につながります

私たちは毎日食事をして生活しています。そして、その食事は生涯にわたって大切なからだを育んでくれます。

平成17年に食育基本法が制定され、「食育」が国民運動として推進していく課題と位置付けられてから、「食育」が浸透しつつありますが、現状をみると、不規則な食生活や栄養の偏り、食に対する意識や感謝の気持ちの薄れ、食べることに興味が無いなど、さまざまな問題があります。

食べる意欲の基礎をつくり、食の体験を広げる時期となる乳幼児期に、食べる力や健やかな心身を育てることができるよう、社会全体で食育に取り組んでいくことが求められています。

楽しく食べる子どもに

厚生労働省では、楽しく食べる子どもに育てるために、次のような子どもの姿を目標としています。

① 食事のリズムがもてる

幼児期から体を使って思いきり遊び、しっかりと睡眠をとることで、空腹感を感じられるようになれば、健康に大切な食欲や生活リズムをもつことができます。

② 食事を味わって食べる

食事の楽しさは、おいしさを知る事から始まります。生涯にわたり食べる基本となる、味覚・視覚・聴覚・嗅覚・触覚の五感を意識していろいろな食品を食べて、おいしさの発見を繰り返す経験が大切です。

③ 一緒に食べたい人がいる

幼児期からみんなで食べる楽しさを体験すると、人の気持ちもよくわかり、思いやりの心も育ちます。また、子どもと一緒に食事の準備や後片付けをすることで共通の話題が生まれ、コミュニケーションもとれます。食事は身体の栄養となるだけでなく、心の栄養にもなります。

④ 食事づくりや準備にかかわる

食事づくりやお手伝いは、マナーや習慣を覚えるよい機会になります。子どもの「やってみたい」という気持ちを「危ないから」「時間がか

るから」と否定するのではなく、できる範囲でかわらせていくことが子どもの自立を促し、自信となります。幼い頃から料理や買い物など食事の準備を体験させながら子どものできることを増やしていきましょう。

子どもは、まわりの大人をよく見ている。大人が食事をするときにひじをつけていたり、器を持たずに食べたり、間違ったマナーで食事をしていると、子どもも同じようになってしまう。まずは大人が正しいマナーを身につけて、子どもの見本となる事が大切です。

おすすめレシピ

●親子でクッキング!
フルーツ白玉

■材料(2人分)

- 白玉粉 … 大さじ6
 - 絹ごし豆腐 … 1/5丁
 - 砂糖 … 大さじ2
 - 水 … 大さじ4
 - いちご … 2粒
 - キウイフルーツ … 1/2個
 - バナナ … 1/2本
- ※好きな果物を使いましょう



■作り方

- ① 砂糖と水を煮立たせてみつをつくり、冷ましておく。
- ② 絹ごし豆腐は、軽く水気をきり、白玉粉とよく練り合わせる。豆腐の水分によってかたさが変わるので、調節しながら適なかたさに練り合わせる。
- ③ ②を小さくまるめ、火が通りやすいように中央をへこませる。
- ④ ③を沸騰した湯に入れ、浮き上がったら1分くらいですくいあげて冷水にとる。
- ⑤ 果物はひとくち大に切る。
- ⑥ 白玉だんごと果物を器に盛り、①を注いで完成!

⑤ 食べ物の話をする

「この野菜は何だろう?」と食べ物のお話をすることが、食べ物への興味と関心を持つことにつながります。食事をおいしく食べるだけでなく、料理が食卓に並ぶまでの過程に関心を持ち、必要な知識を習得していくことが大切です。

食生活を見直しましょう

食育の対象は子どもたちだけではなくありません。家族全員の食生活を見直してみることも「食育」です。日常生活の中の「食」について、今一度、見直してみましょう!

シリーズ⑩
男女共同参画

7-7.ライフ・バランスは誰のため?

津波警報が変わります
気象庁からのお知らせ

すばやい避難が大切!

津波警報は、津波による災害の発生が予想される時に発表される重要な情報です。気象庁では、一昨年に発生した東日本大震災を教訓に3月7日から改善した津波警報の運用を開始します。

巨大地震の発生によって東日本大震災級の津波を予想した場合、大津波警報に「巨大」、津波警報に「高い」という言葉を用いて発表しますので、ただちに安全な場所（高台）へ避難することが重要です。

また、海岸付近で「強い揺れ」「長くゆっくりとした揺れ」を感じた場合も、自らの判断でただちに安全な場所へ避難することが重要です。

■新しい津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

警報・注意報	予想される波の高さ	巨大地震の場合の表現	とるべき行動
大津波警報	10 m超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10 m		
5 m			
津波警報	3 m	高い	海の中にいる人は、ただちに海から上がった、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。
津波注意報	1 m		

※詳しくは、気象庁ホームページをご覧ください。 京都地方気象台防災業務課 ☎ 075-841-3006

高額療養費制度をご存知ですか?
国民健康保険からのお知らせ

高額療養費は、国民健康保険（国保）に加入する人が、1カ月間に支払った医療費が高額となり自己負担限度額を超える場合、超えた分を国保から支給する制度です。

限度額適用認定証を提示すれば
一医療機関の窓口での支払いが自己負担限度額までで済みます

高額な医療費により家計負担が重くならないように、医療機関や薬局で支払う自己負担額が、1カ月単位で一定額（自己負担限度額）を超えた場合、医療機関や薬局に「限度額適用認定証」を提示すれば窓口負担を自己負担限度額にとどめることができます。

平成24年4月1日から従来の入院に加え、外来診療でも限度額適用認定証が適用されることとなりました。日帰り手術など高額な医療費負担をされることも予想される場合は限度額適用認定証を利用してください。

限度額適用認定証の交付には申請が必要です。保険証、印鑑をお持ちの上、できるだ

け早く役場で手続きをしてください。適用される自己負担限度額は世帯によって異なります。下表の「自己負担限度額の区分」をご覧ください。

※差額ベット代や入院時の食事代などは対象外です。
※保険税に滞納がある世帯には交付されない場合があります。

【70歳以上の方について】
高齢受給者証を交付された方が入院する場合、高齢受給者証の負担割合により限度額が適用されており、3割負担の方は「現役並み所得者」、1割負担の方は「一般」の負担区分が適用されています。1割負担の方で町民税非課税世帯の方は低所得Ⅱ、低所得Ⅰの負担区分を適用する限度額適用認定証の申請をしてください。

高額療養費の申請は?
次のような場合で、1カ月の負担が自己負担限度額を超えるとき、高額療養費の支給があると考えられます。適用される自己負担限度額は世帯によって異なりますので、下表の「自己負担限度額の区分」

●自己負担限度額の区分
【70歳未満の方】

負担区分	自己負担限度額
上位所得世帯 (世帯の基礎控除後の総所得金額が600万円を超える世帯)	150,000円 + (総医療費 - 500,000円) × 1%
一般世帯	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
町民税非課税世帯	35,400円

※過去1年間に同じ世帯で4回以上高額療養費に該当したとき、4回目以降は自己負担限度額が減額されます。
※福祉医療費受給者証（老人医療）を交付されている方は、福祉医療制度で高額医療に該当する場合があります。

【70歳以上の方（高齢受給者証をお持ちの方）】

負担区分	自己負担限度額	
	外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)
現役並み所得者 (3割負担の方)	44,400円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
一般	12,000円	44,400円
低所得Ⅱ (町民税非課税世帯)	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ (町民税非課税世帯で世帯の所得が0円)	8,000円	15,000円

※現役並み所得者で、外来+入院（世帯単位）分が、過去1年間に同じ世帯で4回以上高額療養費に該当したとき、4回目以降は自己負担限度額が減額されます。

- 振込口座のわかるものを提示してください。
- 限度額適用認定証の交付を受けなかった場合
- 交付を受けているが同じ月内に転院した場合
- 70歳以上の方で同じ月内に入院と外来がある場合
- 70歳以上の方で複数の医療機関の受診がある場合
- 他にも該当するケースが考えられます。該当するかどうか不明な場合はお問い合わせください。
- 申請に必要なもの
領収書など支払いが確認できる書類（コピー可）
- 高額療養費の計算対象
高額療養費は次により計算されます。
- 月の初日から末日までの受診分で計算します。
- 差額ベット代や入院時の食事代等は対象外です。
- 保険診療以外の診療は対象外となります。
- 70歳未満の場合、一医療機関（※）での同月内の負担分がおおむね21000円以上の負担分が合算対象となり、合算した額が自己負担限度額を超える場合が対象です。
- ※一医療機関でも「入院と外来」、「内科と歯科」は別となります。

女性チャレンジ相談

キャリアコンサルタントがあなたのチャレンジをサポートします！
まずはご相談ください

お店を持ちたい…
全く違う仕事に挑戦したい…
資格を取りたい…海外留学したい…
会社・NPOを設立したい…
いろいろな「チャレンジ」。
まずはその思いを誰かに伝えてみませんか？

●日時
3月8日（金）午後1時～4時

●相談方法
1人60分程度、要予約
※定員3人 先着順

●その他
何かを始めたいのがから始めればいいのか、どこに相談すればいいのかわからない、そんな女性の方お気軽にご相談ください。

●場所 野田川わーくばる

●申込方法
電話で企画財政課（☎ 46-3084）へ。当日予約も可能です。

ご寄付ありがとうございます
寄付のお知らせ



■ご寄付いただいた扁額（為村友象書）
書「虚往實歸」（虚しく往いて實ちて歸る）

2/25（月） 13:30～15:30
●肝炎講演会のお知らせ
知っていますか？肝炎のこと

京都府内ではB型、C型肝炎ウイルスの感染者が約6～7万人、そして、感染していることを知らなかったり治療を受けていない方も多数いると推定されます。

肝炎を放置すると肝硬変や肝がんに進行するおそれもあり、早期に検査や治療を受けることが重要です。

京都府では肝炎対策の一環として、ウイルス性肝炎に対する正しい知識や検査の重要性を理解してもらうため、講演会を開催しますので、ぜひご参加ください。

【場所】
西駅交流センター（JR西舞鶴駅併設）

【対象者】
一般住民（B型・C型肝炎患者およびその家族を含む）

【内容】
●講演「ウイルス性肝炎について -最新治療を含めて-」

●京都府の肝炎対策について

【申し込み・問い合わせ】
京都府丹後保健所 ☎ 0772-62-4312
※申し込み締め切り：2月20日（水）

入場無料

「男女共同参画週間」
キャッチフレーズ募集

男女共同参画を推進する、特に、女性がさまざまな分野で活躍することにより、日本が元気になることが伝わるようなキャッチフレーズを募集します。

●応募締め切り
2月28日(木)まで

●募集方法など
募集方法など詳細は、内閣府男女共同参画局ホームページをご確認ください。

与謝野町役場

- ☎ 46-3001 (代表)
- 岩滝地域振興課 ☎ 46-3002
- 総務課 ☎ 46-3003
- ☎ 46-3004 (消防安全係)
- 企画財政課 ☎ 46-3084
- ☎ 46-3085 (情報システム係)
- 建設課 ☎ 46-3267
- 商工観光課 ☎ 46-3269
- 会計室 ☎ 46-3007

野田川庁舎

- ☎ 44-2081 (代表)
- 野田川地域振興課 ☎ 44-2082
- 住民環境課 ☎ 44-2083
- 税務課 ☎ 44-2084
- 水道課 ☎ 44-2085
- 下水道課 ☎ 44-2086

加悦庁舎

- ☎ 43-1511 (代表)
- 加悦地域振興課 ☎ 43-1512
- 福祉課 ☎ 43-1513
- 保健課 ☎ 43-1514
- 農林課 ☎ 43-2191
- 議事事務局 ☎ 43-0215
- 教育委員会 教育総務課 ☎ 43-2192
- 教育委員会 教育推進課 ☎ 43-2193

子育てに役立つ支援ファイル！
「ひまわりノート」のガイドブックが完成

☎ 福祉課 ☎ 43-1513

平成23年11月に発行した与謝野町の支援ファイル「ひまわりノート」のガイドブックが完成しました。また、ガイドブックの完成に合わせて、町のホームページから、「ひまわりノート」の様式記入例、ガイドブックを教育委員会、保健課、福祉課の各ページからダウンロードできるよ



ひまわりノート(右)と完成したガイドブック(左)

ひまわりノートがガイドブックでより使いやすくなりました！

「ひまわりノート」は、いつから(何歳から)でも使い始められます。随時配布をしていますので、ご希望の方は、福祉課までお問い合わせください。また、町立保育所、幼稚園、小中学校にも、数冊ずつ置いてもらっています。ガイドブックは、福

「ひまわりノート」は、お子さんの生活・教育・医療・保健・福祉・労働などに関する情報を記録する、子育ての記録です。ファイルを活用することで、お子さんが、特性に応じた一貫性のある支援を受けやすくなり、お子さんの生き生きとした生活や、積極的な社会参加の一助となることを目的としています。「ひまわりノート」の主旨、概要、使い方など、詳しくはガイドブックをご覧ください。

うになりました。使用の方がよりわかりやすくなりましたので、ぜひご利用ください。また、今年度から、年度内に3歳になるお子さんがいる全世帯に、「ひまわりノート」を送付しますので、ご利用ください。

社課(加悦庁舎)と岩滝・野田川地域振興課に置いてあります。

指定管理者が決定しました
指定管理者選定結果

☎ 総務課 ☎ 46-3003

■平成25年度指定施設(3施設)

施設名(所管課)	指定管理者名	指定期間
与謝野町立古墳公園(教育推進課)	丹後王国古墳公園保存会合同会社	H25/4/1 ~ H28/3/31
野田川森林公園(商工観光課)	合同会社 コミュニティ野田川	H25/4/1 ~ H30/3/31
クアハウス岩滝(商工観光課)	ドルフィン株式会社	H25/4/1 ~ H30/3/31

このたび、平成25年4月1日から新規に指定となる与謝野町立古墳公園と、更新となる野田川森林公園・クアハウス岩滝の指定管理者が1月23日に開催された議会の議決を受けて、正式に指定されましてお知らせいたします。今回の選定結果は、左表のとおりです。

「みらいふ」の取り組みを紹介します
よさの百年の暮らし委員会

☎ 住民環境課 ☎ 43-2193

よさの百年の暮らし委員会(愛称「みらいふ」)では、昨年11月、YOSANOオータムフェスティバルにおいて、メイン会場の岩滝体育館前のテントブースで、地球温暖化対策と環境保全をPRしました。当日は、あいにくの



エコクッキングの実演には多くの人が訪れました

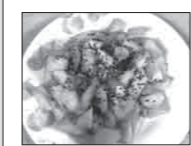
雨となりましたが、多くの来場者がありました。ブースではエコクッキングの実演や試食、またエコライフ診断を行い、各家庭で省エネの啓発を行いました。エコクッキングでは、約350名の方に試食していただき、啓発パンフレットを手渡ししました。また、エコ診断では75名の方の診断を行いました。来場者の皆さんからは、「エコクッキングに興味があつて寄つてみた」「エコな調理方法が知りたい」といった声が寄せられました。調理の実践も行つていたため、来場者に十分な説明ができない場面もありましたが、一人



エコライフ診断で省エネをPRしました


ひとりの力は小さくても大きなエコにつながる一歩であり、身近な日常生活から省エネや温暖化防止が推進できることをアピールすることができました。また、当日は環境にやさしい農業の一環として、トラクター用燃料の軽油の代わりに、バイオディーゼル燃料を利用する取り組みを、トラクターを使って実演しました。

エコクッキング
おすすめレシピ紹介



無水用フライパンで作る
大学いも

- 材料
さつまいも … 大3本
砂糖 … 大さじ5
油 … 大さじ10
黒ゴマ … 適量
- 作り方
①さつまいもの皮をむき、一口大に切る
②無水用フライパンにさつまいも、砂糖、油を入れる
③ふたをして中の強火で6分間火を通す
④上下を返し、さらに6分間火を通し黒ゴマをふってできあがり！
焦げ目をつけたいときはさらに火を通しましょう



洗わず同じフライパンで
さつまいものきんぴら

- 材料
大学いも作りで残ったさつまいもの皮
砂糖 … 適量
油 … 適量
黒ゴマ … 適量
- 作り方
①大学いもで使用したフライパンを洗わずそのまま使用します
②千切りにしたさつまいもの皮を入れる
③好みの硬さまで炒め、醤油で味を整える
④黒ゴマをふってできあがり！
甘みが足りないときは砂糖を加えましょう

今月の納期

2/28(木)まで
国民健康保険税 第9期
介護保険料 第9期

夜間納税窓口

2/26(火)・27(水)・28(木)
いずれも午後8時まで
野田川庁舎(税務課)
※納付書をご持参ください

滞納税相談窓口

※納期を過ぎた町税の納付相談窓口
京都地方税機構 丹後地方事務所
京丹後市役所大宮庁舎3階
☎ 0772-68-1041

KTR
シンポジウム
に参加しよう！

地域になくはならない公共交通であるKTR。その現状や将来について皆さんと一緒に考えるシンポジウムが開催されます。ぜひご参加ください。

【日時】
2月23日(土)
午後2時10分～4時40分

【場所】
大江町総合会館
イベントホール
(KTR大江駅下車すぐ)

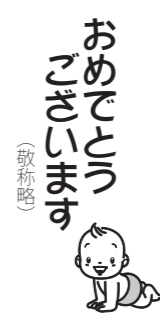
【内容】
現状報告、利用促進の取組報告、基調講演など

【問い合わせ先】
KTR利用促進協議会
事務局(宮津市企画総務室)
☎ 45-1601

町内に配布している
広報誌には掲載しています



町内に配布している
広報誌には掲載しています



まちのうごき
平成24年12月末現在
人口 23,976人(-28)
男 11,389人(-3)
女 12,587人(-25)
世帯数 9,154戸(-10)
※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、12月16日から1月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。



手話の魅力伝える

三田宏美さん

手話は身体と空間の言葉。その表現を追求していきたい

身体と空間が織りなす豊かな表現。その洗練された美しさは見るものに新しい発見と感動を与えてくれます。今回は手話パフォーマンス三田宏美さんをご紹介します。

ルの雰囲気よかつたから長続きましたのだと思います」と振り返ります。

手話との出会いは中学1年生の頃。同級生に手話サークルに誘われたことからでした。高校卒業までの6年間通った手話サークルを「習い事の延長みたいな感じでした。仲間やサーク

を学び直すことを決意し、専門学校に通い始めます。「講師の皆様と仲良くなって、その中で自然に手話を学びました。まあ、飲み二ヶーションですね」と笑顔で振り返ります。

2年近く離れていたこともあり、うまくコミュニケーションが取れず、もどかしい思いを感じた三田さん。これを機に再び手話

境を求めて神戸に移り住みます。それからまもなく、大阪で開講されたダンスの市民講座に参加し、それを契機にダンスの活動を始めます。「昔からダンスが好きで、当時地元ではダンスが習えなかったもので、いつか習おうと思っていた」という三田さんがダンスと手話を融合させたパフォーマンスにたどり着くのは自然なことだったのかもしれませんが。そして、現在のスタイルでのパフォーマンスは、偶然



手話パフォーマンス中の三田さん

出会ったダンスが好きで難聴の子と一緒に始めたといいます。初めはその2人から、多いときには10人ほどで、メンバーが集まらないときはソロでも活動を続けました。

現在はソロを中心に活動を行う三田さん。この活動について、「地元の手話サークル時代にみんなが歌ったとき、『私に聞こえないからあまり楽しめない』と言った人がいた。当時は深く考えなかったけど、今思えばあの言葉が私の原点だと思います」と語ってくれました。「見ます』と語ってくれました。『見もある。それを表現したい』。手話について、少しとつづき



Profile みた ひろみ

昭和53年2月生まれ、男山出身。本名は白石宏美。旧姓の三田の名前で手話パフォーマンスを行い、手話の魅力を伝える活動を続ける。次回講演は3月3日神戸三宮にて。地元では3月16・17日に地域活性化イベント「ココ丹後」の1つとして実家・三田酒店でイベントを開催。詳しくは三田さんのブログ「～歌は 舞う～」まで